

令和元年度
学校だより
NO.2



甲府市立大國小学校

＝ 学校教育目標 ＝
「心豊かに、知性を磨き、たくましく主体的
に行動する子どもの育成」

大國の子

R1. 5. 30 発行 校長：戸澤智紀

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- よく考え、自ら学び 表現する子ども
- 心身ともに健康で、進んで行動する子ども

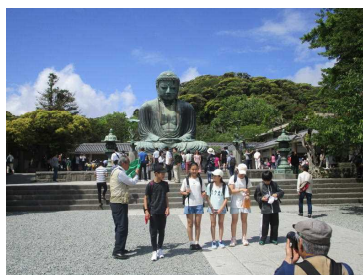
令和元年 スタート



5月1日（水）新元号「令和」がスタートしました。10連休が終わったばかりとっていたら、もう5月も終わりです。

下旬には各地で猛暑に見舞われ、これまでに体験したことのない5月の暑さに、子供たちの健康状態はもとより、未来の地球は大丈夫か、と心配になるほどでした。

これから、梅雨入りし健康面でも安全面でもさらに、気を付けなくてはならない季節になります。夏に向けて想定外の気候が続くことも予想されます。熱中症対策等いっそう気を付けて、子供たちを見守りたいと思います。



修学旅行に行ってきました

5月15日（水）から17日（金）まで、素晴らしい天候に恵まれ、6年生が修学旅行に行ってきました。

修学旅行はあくまでも授業の一環としていくものですから、しっかりとしためあてを持って計画し実施されます。

そこでまず子供たちに「修学旅行が楽しくしてくれる」のではなく「修学旅行を楽しくする」という意識を持たせ

ました。そして、連れて行ってもらう旅行ではなく、自分たちで積極的に創り上げる旅行にする、という意欲の中で6年生が一丸となって取り組みました。旅行先では、集合時刻をしっかりと守り、規律正しく、楽しむときには思いっきり楽しむという、けじめのある姿から、大國小の6年生は、まだまだすごい伸びしろがある、と確信しました。

テーマ「大きな夢を描き 優しさと強さを心にひめて 始めよう 未来へのステップ！」に基づき、一人一人が与えられた役割をこなし、素直に学び、真剣に取り組むことで、子供たちが大きく成長するものとなりました。今後の6年生の活躍が楽しみです。



バスケットゴールの設置

念願であった、バスケットゴールが校庭東側に設置されました。PTAのこれまでの積立金により購入していただきました。

5月26日の日曜日、暑い中でしたが、PTA本会役員の方々にご来校いただき設置していただきました。

さっそく子供たちは楽しく遊んでいます。バスケットボールもプロ化により広く人気を集める競技になりました。

子供のうちはいろいろなスポーツを体験することが大切です。たくさんバスケットゴールで遊んで、たくさん汗をかいて、みんなで思いっきり楽しむことが何よりの感謝です。ありがとうございました。



体力テストへのご協力を頂いています



13日（月）から各学年、各クラスで体力測定が始まりました。握力・上体起こし・長座体前屈・反復横飛び・20mシャトルラン・50m走・ソフトボール投げ・立ち幅跳び、の8種目です。この測定に際し、現在スポーツ推進委員の方々にお越しいただき、お手伝いやご指導をいただいております。



スポーツ推進委員は、甲府市のスポーツの推進のため、教育委員会規則の定めるところにより、市のスポーツイベントの連絡調整や市民へのスポーツに関する実技指導及び助言を行ってくださるスペシャリストです。小中学校体育連盟の指定を受けて保健体育の充実を図っている本校にとって、新たに強い味方が加わりました。感謝しながら充実した測定ができています。



教員の多忙化解消へのご協力について 1

すでに報道されているように教員の多忙化解消に向けて、国はもとより県でも市でも、さらには県や市のPTA連合会でもその対策に乗り出しています。実際に教育公務員として法律で義務付けられている勤務時間や休憩は以下の通りです。



本校教職員勤務時間

始業 8:20 ~ 終業 16:50

休憩時間(勤務を要しない時間)

午前 10:20 ~ 10:45

午後 1:10 ~ 1:30



勤務時間については途中の休憩時間を除いて7時間45分です。しかし実際にこの時間で勤務を終えるのは非常に厳しい状況ですし、休憩時間もあってないようなものです。

実際に子供たちが下校してからの教職員の勤務内容は、必要に応じて保護者の皆様への対応・テストやドリル、プリントのチェック・学年

学級事務・校内会議・明日の授業の準備・行事への計画や対応・校内での研究会・校外会議への出張・校務分掌の取組等々、毎日遅くまで残業をして、家でできる仕事は持ち帰り、さらには土日に回し、家に持ち帰ることの出来ない仕事は休日出勤して対応する、という状況です。

このように超多忙な毎日ですが教職員は「子供たちの成長のために」「保護者の方々も厳しい状況下で頑張っているのだから」という思いで何とか持ちこたえています。ひと月に80時間の時間外勤務時間が過労死ラインと言われる数字だそうです。

ぜひ今後もこれまで以上に学校行事（家庭訪問・個別懇談会や保健室で休んでいるお子さんのお迎え・忘れ物を取りに来る等を含め）はすべて教職員の勤務時間内での対応で収まりますようご理解とご協力をお願い致します。

学校としてもさらに行事の精選や見直しをして参ります。心身ともに健康な状態で子供たちの前に立つことが、最大の教育環境である教師としての第一条件です。子供たちのための働き方改革でもあります。5分でも10分でも教職員の睡眠時間とリフレッシュする時間を確保することが急務です。宜しく願いいたします。



学校行事や子供たちの行動について、電話でのお問い合わせは、防犯上の観点から

必ず、お子さんの学年とクラス、氏名、続柄をお願いします。

